

## いじめなどが起こりようのない学校

右掲載のことは、大学の気風についてのものですが、大学を学校に、宗教的影響を人権意識に変え、それに伴い他の語句を少し修正しても、意味の通じることとなります。すなわち次のようです。

**学校が道徳的あるいは人権的意識を生徒に培わせることができるとするならば、それは……学校全体にみなぎっている気風によるのです。**

教育者

生きる力を身につけようという人が学校で学ぶべきものは、知識そのものではなく、それらを「正しく」用い、導く教養だと教育者は言う。そのためには、物事を包括的にみる見方、いかえると、知識を、人としての義務を顧み「人間性を高貴にする」手段と捉える見方が不可欠だと。「学校教育について」から。

## 折々のことば

驚田 清一 174

専門職に就こうという人が大学で学ぶべきものは、専門的知識そのものではなく、それらを「正しく」用い、導く教養だと、哲学者は言う。そのためには、物事を包括的にみる見方、いかえると、知識を、人としての義務を顧み「人間性を高貴にする」手段と捉える見方が不可欠だと。「大学教育について」(竹内一誠訳)から。

大学が道徳的あるいは宗教的影響を学生に及ぼすことができるとするならば、それは……大学全体にみなぎっている気風によるのです

ジョン・スチュアート・ミル

2015・9・26 朝日新聞

道徳的・人権的意識を生徒に培っかわせることができるような気風がみなぎっている学校では、いじめ・体罰・不登校は起こりようがありません。

いじめを肩じり張って、つまり何らかの力を行使して**起こさないようにする学校**(いじめを許さない学校)づくりではいじめをなくすことはできません。文科省(教育の素人である官僚)のやろうとしている学校づくりはこれです。「いじめを許さない」と言うのは、いじめが起こらないよう何らかの**強制的な力**を行使する(例えば、クラス集団の**力**でいじめを**抑える**。教師等が見回りして**監視力**を働かせる、警察など学校外の**力**もかりる、など)ということであり、それを言った瞬間にいじめ(なんらかの「不本意な**力**=強制的な力」を対象者に加えること)問題の解決は遠のきます。(強制的な)力には(強制的な)力を、というのは教育ではありません。

何らかの強制的な力を行使するいじめを許さない学校づくりではなく、いじめ・体罰・不登校など**起こりようのない学校**づくり、すなわち、道徳的・人権的意識が自然と、つまり、**何らかの強制的な力を行使しなくても身につく気風**ある学校づくりこそが求められています。

かかる真っ当なことをいうと、力には力をと主張する体罰肯定者は必ず、そんな甘いことをいっているからいじめ・非行がのさばると批判しますが、私が以前記した下記の文(※)に出てくる学校(最初に赴任した学校)は、道徳的・人権的意識を生徒に培わせることができる気風ある学校づくりがおこなわれており、いわゆる「教育困難校(底辺校)」でしたが、いじめ・体罰・不登校は起こり得ませんでした(ですから、この学校の教育方針は正しいと記したのです)。

(※) 共感は、内容についてではなく、そうした存在の震えにこそ向かう。↓<下記URLをクリック>

<http://pdffile.cocolog-nifty.com/blog/files/45.pdf>

いじめ・体罰・不登校など起こり得ない学校づくりをしている学校はあります。体罰肯定者や教育には何らかの力が必要と思っている方は、そのような学校づくりに学んでいただきたいと思います。

**教育は調教ではありません**。調教は、猿回しの猿に芸を教えることを思い浮かべるとよくわかりますが、知識ややり方を力の度合いは様々ながら強制的に外から教え込み、失敗すれば怒鳴る叩くなどの力を加えて矯正するというもので、**何らかの強制的な力を加えて教える側の意図通りに育てていく**ものです。

それに対して教育は、植物の種が成長していくことを思い浮かべるとよくわかりますが、種は最初から大木なら大木に成長していく力を内在させており、成長するに適したきれいな空気・水・土等があれば、種それぞれが内にもっている力によって**自然に(何の外からの力を加えなくても)自分に内在する力で個性豊かに成長**していきます。花を咲かせるもの、咲かせないもの、花も赤・白・紫、様々です。背のたかいもの、低いもの、地にはうもの、様々です。そこには教える側のやるべきは、それぞれ個性豊かに育ててほしいと願いながら、成長するに適した環境を整えるのみです。

この文書は、<「いじめなど起こりようがない」学校>(下記URLをクリック)に掲載されているものです。

<http://fileshelf.cocolog-nifty.com/blog/2016/10/post-932b.html>